

8/24 月

論説

2023-8-24



「国が開く」「元国会議員」「霞
大蔵・政務官
等」などの区
分があるが、
招請者全体の
うち黒塗りの
割合が74%に
上ったのは質
機で、誰をか
しげれるを得
ない。

確かに情報公開法の定めでは、

個人に関する情報や国の秘密に属する情報など六種類について「個外的に非公開」としているが、この原則は開示を求めるため「公開」の法律である。

国会議員の場合は招請者六百四人のうち黒塗りの割合が60%で当然だが、元国会議員の千吉四人は全員が黒塗りだった。かつて公職にあった経歴により招かれた人々であり、公務員に選じた形で公開すべきだら」と思える。

「平日一人による「意見代表」も91%が黒塗りだった。「立法・行政・司法議院」では63%、「報道関係」では100%が黒塗りだった。そもそも「国議に出席した」として、それそれが秘匿する事実ではないはずだ。議院の代表や著名人の話題に参列が明らかになつてじる人も多い。

政府の議題を反対拒否決議法に譲り、「國の運営」として、約二千三百以上の議員が全議員会議で詮ねられた。パンチ中止された議論行事に招いたのであり、そもそも秘匿すべき性質なのかな。

内閣府は「同じ属性にありながら推進されなかった者が明らかになら」と説明したところが、開示しない議論は秘匿して不可解だ。国議を「決した議論を行事じてもあり、法の解釈を廢し」招請者を匿したと指摘はなかつたか。「知る権利」の上でも、国民が情報を知り得ないのは憲法違反である。わかる情報を求めてだ。

情報は「公開」が原則だ

国議名簿塗り

安倍晋三元首相の国議を巡り、
共同通信が招請者名簿などの情報を
公開を請求したところ、74%の氏
名が黒塗りだった。全額国議で隠
された問題である。「層の透明性
が求められる」。

安倍氏の国議は昨年九月二十七日「東京・日本武道館で開催され
た。内閣府が共同通信に開示した
のは、各議員の推進名簿の全体
名簿ないし本質。国議の本部会場を
選んだ招請者六千四百七十五人のうち
が、出席者四千四百四十六人だ
ったといい。